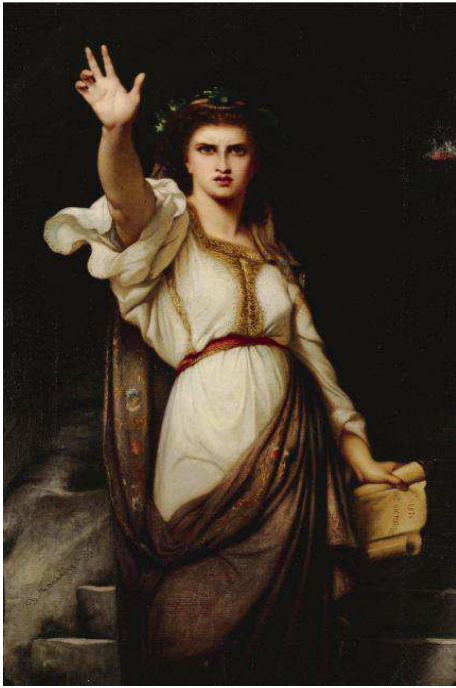


～旧約聖書を読んで感じること～ (35) 士師記(2) 士師デボラの戦い



デボラ Charles Landelle (1821-1908)

カナンは 900 両の鉄の戦車を持ち、将軍シセラを擁し、20 年にもわたって君臨してきたのです。双方がキシオン川で向かい合い、戦闘に入りました。バラクはカナン軍を追い詰め、軍勢を倒しました。将軍シセラが走って逃げて行ったのはカイン人ヘベルの妻ヤエルの天幕でした。カイン人とはモーセの舅の流れをくむケニの人々でそこに住んでいたのです。カイン人のヘベル一族とカナンの王は友好的な関係を保っていました。疲労困憊したシセラをヤエルは「ご心配には及びません」と親切に迎え入れました。

だが、ヘベルの妻ヤエルは天幕の釘を取り、槌を手にして彼のそばに忍び寄り、こめかみに釘を打ち込んだ。釘は地まで突き刺さった。

疲れきって熟睡していた彼は、こうして死んだ。(士 4:21)

シセラを追っていったバラクはヤエルの天幕で敵軍の将軍の死体を発見し、イスラエルの勝利を勝ち取りました。デボラはヤエルを「**女たちの中で最も祝福された女**」と歌っています。



ヤエルとシセラ Ottavio Vannini (1585-1643)

このヤエルとは何者なのでしょう。カナン人に対して表面上友好的、恭順でしたが、このように殺害するチャンスを狙っていたほど、カナン人から圧迫され、苦しめられていたのでしょうか。ヤエルはデボラの「ナツメヤシの木」のもとで窮状を告げ、親しく、女性同士、共感しあっていたのではないのでしょうか。

デボラはさらに歌の中で、敵将シセラの母のことも哀れんで、歌っています。

シセラの母は窓から外を見て／格子を通して嘆いた。「どうして彼の車は遅れているのか。どうして馬のひづめの音は遅いのか。」賢い女官たちは答えた。母も同じ言葉を自分に何度も言い聞かせた。「戦利品を得て、分けているのでしょうか／兵士それぞれに一人か二人の女を。シセラには／染めた布が戦利品、染めた布が戦利品／刺しゅうした布、染めた布／その首には刺しゅうした布二枚／これが戦利品。」(士5:28-30)

デボラの戦利品は、「主を愛する者が日の出の勢いを得る」ことでした。



シセラの母

A.J.Moore(1841-1893)